

## 取り組みの具体的な内容

### 地域子育て支援団体・サークルと 大学との協働

保育士やボランティアリーダーから乳幼児理解・発達理解、手遊び・リズム遊びなどの指導法や指導技術を学ぶ。

- ・学生ボランティアとして現場で学ぶ
- ・出前キッズカレッジで地域の教育活動を支援

報告資料作成、壁面作成、毎回の環境を構成などで就業力の強化を図る。

- 毎回の
- ・壁面構成や環境構成
  - ・キッズカレッジ通信の発行

ボランティアが実際にかかわる姿に触れて、親の子育て力回復と向上を支援する実践力を身に付ける。

- キッズカレッジの事前・事後に
- ボランティアリーダーと
  - 企画打ち合わせ
  - 会場準備

学生企画のイベントを開催。他学年やボランティアと協働する一体感や責任感を体感。

- ・年間 40 回キッズカレッジで実践
- ・特別企画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを企画・実践

毎回のキッズカレッジで自己課題・自己目標に向かって主体的に学習。ポートフォリオで学びを豊かにする。

- ・振返りシート
- ・レポート記録
- ・気付きメモ
- ・保護者アンケート

# 取り組みの具体的な内容

## 段階的なキャリアステップ学習

## アドバイザー制度の充実

1年次…「子ども学総論」「子ども学演習」の**基礎ゼミ**で実習に向けての心がまえ、子どもとふれあう基本的な姿勢を学びます。

誕生表や季節の壁面を作り「キッズカレッジ」の壁面装飾に役立てます。

2年次…「ボランティア活動」で、各自のテーマを設定し、キッズカレッジでの学びをレポートにまとめます。ディスカッションや発表をする機会を設け、より実践的な理解を深めていきます。

乳幼児にやさしい手づくり玩具や、指導案の作成など、さらに学びたいことを**アドバイザー**と相談しながら深めていきます。

3年次…「教育・保育実習 事前・事後指導」「総合演習Ⅰ・Ⅱ」で授業の中で学んだ遊びを、**ゼミ**の指導を受け「キッズカレッジ」で発表します。一人一人の子どもの反応を確認することで、子どもとのやりとりのリズムや間合いを知り、楽しい遊びの提供力や環境の構成を身につけます。

「キッズカレッジ」の「振り返りシート」「気付きメモ」で学びを確かにします。

地域の子育てサロンへ「出前キッズカレッジ」に出かけ実践を重ねます。

4年次…「教育・保育実習 事前・事後指導」「総合演習Ⅲ・Ⅳ」で**ゼミ**の指導を受け、各自の研究課題について深く考え研究をまとめて発表します。

1～4年次全体…「キッズカレッジ」を企画・実践し、ボランティアリーダーや子どもたち、**子ども学の教員全員**と関わる中で様々な学びを体験し、身につけていきます。

さらに学びたい学生は「ボランティア活動」でボランティア団体や幼稚園・保育園などでボランティア活動を行い、単位を取得します。

## 地域ボランティア団体との協働

## 地域ボランティアリーダー研修会

・「キッズカレッジ」は**年間 40 回開催**。

・「キッズカレッジ」では、ボランティアリーダーのかかわりを隣で見ながら親子と遊ぶ学びの実体験ができます。

・ボランティアリーダーとともに「**ボランティアリーダー研修会**」に参加し、実践的な学びを重ねます。

・毎回の**事前打ち合わせ**や**事後検討会**で、幼児理解・発達理解を重ね、学びを深めます。

・毎回の**企画を提案**し合うことで、主体性と責任感が培われ、実践力が向上します。

・**特別企画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ**は、一体となってやり遂げる企画力・実践力アップ！

